

がん患者・家族サロン「はまぎく」だより

平成26年度 第1号



サロンは情報交換の場

外来の患者さん達は、治療前や治療後に利用されています。時々、手作りのおやつを食べながら、

「まるで女子会みたいだね」

と会話を楽しんでいます。

患者さん同士が情報交換することで学ぶことや勇気付けられることも多いようです。

「ここに来て話をするのは楽しい」
「こんな話は他できないもんね」
「ストレス解消になる」

と笑顔で帰られます。サロンができて本当に良かったと思える瞬間です。



クラフトテープでクリスマスを楽しもう

12月2日にイベントを開催しました。11名の方が参加し、ミニツリーストラップやミニリースを作り、楽しい時間を過ごしました。完成した作品をサロンのツリーに飾った方もいらっしゃいました。ぜひ見学にいらっしやってください。

今回はクラフトバンドエコロジー協会認定講師の吉田さんがボランティアでクラフトテープの準備から指導まで行っていただきました。参加者からは「また、やってみたい」「次は箱を作ってみよう」という声も聞かれ、大変好評でした。

サロンで繋がる人と人

サロンは患者さん同士が繋がることはもちろんのこと、病院スタッフとも繋がる良い機会になります。例えば、いろいろな悩みや相談を抱えてサロンを訪れる方もいます。傾聴ボランティアがお話を伺いながら、認定看護師に紹介したほうがよいと判断した際には、緩和ケア認定看護師の平野さんに連絡しています。

未使用タオル、お譲りください

サロンにはタオル帽子のコーナーが設置されています。ここ1年で約150個利用されています。帽子は「つくしん帽の会」の皆さんがタオルの調達から作成まで担当しています。

最近タオルが不足し品薄状態が続いております。自宅に眠っているタオルがありましたら、ぜひサロンにお譲りください。